

第157回神奈川県臨床外科医学会集談会 プログラム

日時：令和4年2月19日（土）午後2時00分～
Web開催（ZOOM）

開会の辞 当番世話人 横須賀共済病院 外科 舛井秀宣

レジデントプレゼンテーション（発表4分 質疑応答2分）

セッション1（14：05－14：35）

座長：横浜栄共済病院 外科 加藤秀明先生

1. 肋骨原発軟骨肉腫に対して胸腔鏡下laparoscopic puncture法にて手術を施行した症例

東海大学医学部外科学系呼吸器外科学

○日下田智輝（ひげた ともき）、有賀直広、松尾一優、塩山希衣、小野沢博登、壺井貴朗、松崎智彦、須賀 淳、増田良太、岩崎正之

2. 直腸肛門部悪性黒色腫に対しロボット支援下腹会陰式直腸切断術を行った1例

横浜市立大学附属病院

横浜市立大学 外科治療学¹⁾、

横浜市立大学附属市民総合医療センター消化器病センター外科²⁾

○山元崇輔（やまもと そうすけ）¹⁾、渥美陽介¹⁾、沼田正勝¹⁾、風間慶祐¹⁾、齋藤健太郎²⁾、井口健太²⁾、玉川 洋¹⁾、佐藤 勉²⁾、湯川寛夫¹⁾、利野 靖¹⁾

3. 発見後6年間生存したSister Mary Joseph's nodule(SMJN)の一例

横浜栄共済病院 外科¹⁾、病理科²⁾

○足立和斗¹⁾（あだち かずと）、加藤秀明¹⁾、柴田栞里¹⁾、栗原亜梨沙¹⁾、木村花梨¹⁾、道傳研太¹⁾、吉村隆宏¹⁾、岩城吉孝¹⁾、俵矢香苗¹⁾、川口雅彦¹⁾、渡邊 透¹⁾、越 浩美²⁾、柳本邦雄²⁾

4. 食道胃接合部癌術後肝転移に対してTDXdが著効した一例

横須賀共済病院 外科

○布施雄馬（ふせ ゆうま）、八子博貴、紫葉祐介、岡野茉由、伊澤 朗、今西康太、竹之内晶、竹下裕介、下澤元晴、小林 圭、渡邊 活、酒井 淳、鈴木千穂、諏訪宏和、南 裕太、野尻和典、小野秀高、吉田謙一、舛井秀宣、長堀 薫

5. 狭窄症状を呈し外科的治療を要した下行結腸憩室炎の一例

済生会横浜市南部病院 外科

○岡田航平（おかだ こうへい）、伊豆川翔太、磯田まや、田中玲於奈、石黒哲史、窪田硫富人、佐原康太、神谷真梨子、三宅益代、瀬上顕貴、渡辺卓央、高橋 航、吉田達也、上田倫夫、虫明寛行、長谷川誠司、福島忠男

レジデントプレゼンテーション（発表4分 質疑応答2分）

セッション2（14：35－15：11）

座長：川崎市立川崎病院 外科 和多田晋先生

6. 腹腔鏡下幽門側胃切除術 Roux-en-Y再建後にPetersens' herniaを発症した1例

横須賀市立市民病院 研修医

○小金井雄太（こがねい ゆうた）、藤原淑恵、油座 築、中山岳龍、杉浦浩朗、長嶺弘太郎、関戸 仁

7. 混合型肝癌術後に肝門部のリンパ節に再発した1例

国立病院機構横浜医療センター 外科

○川崎千瑛(かわさき ちあき)、山本悠史、秋山信助、大石裕佳、藤原大樹、堀井伸利、矢澤慶一、柿添 学、木村 準、清水哲也、松田悟郎、藤井義郎

8. 強固な静脈壁癒着により抜去困難であったCVポート遺残カテーテルの1例

平塚共済病院 外科

○田中雄也(たなか ゆうや)、中山雄太、豊田まどか、奥田尚子、秋元規宏、岡本浩直、白井順也、中山博貴、山仲一輝、羽鳥慎祐、谷 和行

9. 妊娠中の急性虫垂炎に対して腹腔鏡下虫垂切除を施行した1例

東海大学医学部附属病院 一般外科

○田村 瞳(たむら ひとみ)、永 滋教、渡邊裕樹、益子太郎、宮北寛士、増岡義人、山本美穂、数野暁人、岡田和丈、茅野 新、鍋島一仁、中村健司、森正樹、小柳和夫、山本聖一郎、中郡聡夫

10. 魚骨によるS状結腸穿孔の一例

JA神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 外科

○原 晴彦(はら はるひこ)、気賀澤悠、栄永直樹、室井貴子、若林大雅、柏木浩暢、西岡道人、壁島康郎

11. 直腸癌術後、多発性の腹部内臓動脈の閉塞・解離・破裂を繰り返し治療に難渋した1例

川崎市立川崎病院 外科

○酒井美晴(さかい みはる)、雨宮隆介、和多田晋、木戸美織、海ヶ倉紀文、鳴瀬 祥、中間麻矢子、横塚 慧、細川恭佑、近藤崇之、三原規奨、小倉正治、中村哲也、萬谷京子、相浦浩一、市東昌也

レジデントプレゼンテーション(発表4分 質疑応答2分)

セッション3(15:11-15:41)

座長：横須賀市立うわまち病院 外科 岡田晋一郎先生

12. 腸閉塞を契機に発見された、単形性上皮向性腸管T細胞リンパ腫の一例

海老名総合病院 外科

○鈴木佳世子(すずき かよこ)、針金幸平、山野格寿、根本 洋、宮前 拓

13. 肝切除術を施行した単包条虫による肝エキノコックス症の1例

藤沢市民病院 消化器外科¹⁾、救急外科²⁾

○田中大貴(たなか だいき)、大田洋平¹⁾、岡 智²⁾、小崎良平²⁾、川島 圭¹⁾、森 康一¹⁾、津村祥子¹⁾、川島 淳¹⁾、浅野史雄¹⁾、牧野洋知¹⁾、山岸 茂¹⁾

14. 漏出性胆汁性腹膜炎の1例

横須賀市立うわまち病院 外科

○金井春果(かない はるか)、岡田晋一郎、菅沼利行、中谷研介、大谷菜穂子、松本理沙、水澤由樹、横山 亘

15. 回腸憩室穿通による膿瘍形成に対して手術を施行した1例

横浜市立大学附属病院 消化器外科

○根岸大貴(ねぎし たいき)、中川和也、木下颯花、大矢浩貴、笠原康平、小澤真由美、石部敦士、小坂隆司、秋山浩利、遠藤格

16. 穿孔性腹膜炎における播種性血管内凝固(DIC)の病態意義

東名厚木病院 消化器外科

○白水夏実(しろうずなつみ)、馬場逸人、小檜山亮介、神山公希、高坂佳宏

要望演題1「Interval appendectomyの適応と成績」(発表6分 質疑応答2分)

演題発表(15:45-16:39) 総合討論(16:40-17:10)

座長：横浜市立みなと赤十字病院 外科 杉田光隆先生
国立病院機構相模原病院 外科 旗手和彦先生

1. Interval appendectomyによる手術時間と入院期間の短縮

新百合ヶ丘総合病院

○久保田亮人(くぼた あきひと)、田辺義明、小林徹也、金井秀樹、力石健太郎

2. 急性虫垂炎に対する治療方針 — 緊急手術? 保存加療? ドレナージ?

国立病院機構相模原病院 外科

○上松由昌(うえまつ よしまさ)、旗手和彦、金澤秀紀、森 隆弘、森谷宏光、坂本友見子、飯塚美香、横田和子、大越悠史、桑野紘治、鶴丸裕司、金田崇良、堀口寿里安、金田悟郎

3. 当院における急性虫垂炎に対するInterval Appendectomyの至適待機期間の検討

済生会横浜市南部病院 外科、横浜市立大学 外科治療学

○石黒哲史(いしぐろ てつし)、虫明寛行、磯田まや、田中玲於奈、窪田硫富人、伊豆川翔太、佐原康太、神谷真梨子、三宅益代、瀬上顕貴、渡辺卓央、高橋 航、吉田達也、上田倫夫、長谷川誠司、福島忠男、利野 靖

4. 当院における膿瘍形成性急性虫垂炎の治療方針と外科的治療成績の検討

横須賀共済病院 外科

○小林圭(こばやし けい)、諏訪宏和、伊澤 朗、今西康太、岡野茉由、紫葉祐介、八子博貴、下澤 元、竹之内晶、竹下祐介、渡邊 活、酒井 淳、南 裕太、野尻和典、小野秀高、吉田謙一、舛井秀宣、長堀 薫

5. 当院における急性虫垂炎に対する待機的虫垂切除術の治療成績

平塚市民病院 外科

○小澤広輝(おざわ ひろき)、原明日香、林 啓太、金子 靖、菊池弘人、藤崎洋人、平田玲、本郷久美子、高野公德、葉季久雄、米山公康、中川基人

6. 急性虫垂炎に対するinterval appendectomyについての検討

帝京大学医学部附属溝口病院 外科

○鈴木悠太(すずき ゆうた)、高島順平、小泉彩香、茂原富美、塚本充雄、山崎健司、杉本 齊、藤本大裕、三浦文彦、谷口桂三、小林宏寿

7. 穿孔性および膿瘍形成性虫垂炎の治療成績からみた待機的虫垂切除術の適応

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科

○香中伸太郎(かなか しんたろう)

Clinical lecture(17:10-17:45)(講演30分 質疑5分)

座長：横須賀共済病院 外科 諏訪 宏和 先生

『 肛門の診断：痛み・腫れ・出血をどう診るか 』

松島病院大腸肛門病センター 松島 誠 先生

特別講演(17:45-18:35)

座長：横須賀共済病院 外科 舛井 秀宣 先生

『 神経内分泌腫瘍からみた新しい癌治療の方法 』

講 師 横浜市立大学大学院医学研究科 がん総合医科学 主任教授

横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科 部長 市川 靖史 先生

要望演題2『汚染創のManagement』（18：35－19：02）（発表6分 質疑応答2分）

座長：藤沢市民病院外科 山岸茂先生

1. 当院におけるSSI予防の取り組み

横浜市立みなと赤十字病院 外科

○山田淳貴（やまだ じゅんき）

2. 当院における腹腔鏡下大腸切除術の小開腹創に対する筋膜連続縫合閉鎖の治療成績

国立病院機構横浜医療センター 外科

○藤原大樹（ふじわら ひろき）、柿添 学、秋山信助、大石裕佳、山本悠史、堀井伸利、矢澤慶一、木村 準、清水哲也、松田悟郎、藤井義郎

3. 下部消化管穿孔症例に対する術後創管理へのNPWTの導入

国家公務員共済会組合 横須賀共済病院 外科¹⁾

国家公務員共済会組合 横須賀共済病院 看護部²⁾

○竹下裕介¹⁾（たけした ゆうすけ）、南 裕太¹⁾、慶 貴子²⁾、今西康太¹⁾、伊澤 朗¹⁾、岡野茉由¹⁾、柴葉裕介¹⁾、八子博貴¹⁾、竹之内晶¹⁾、小林 圭¹⁾、渡邊 活¹⁾、酒井 淳¹⁾、鈴木千穂¹⁾、諏訪宏和¹⁾、野尻和典¹⁾、小野秀高¹⁾、吉田謙一¹⁾、舛井秀宜¹⁾、長堀 薫¹⁾

4. 下部消化管穿孔症例に対する予防的NPWTにおける創傷治癒遅延因子の検討

藤沢市民病院 消化器外科

○川島 淳（かわしま じゅん）、山岸 茂、津村祥子、増田太郎、小崎良平、森 康一、浅野史雄、大田洋平、岡 智、牧野洋知

レジデントプレゼンテーション表彰（19：02－19：17）

閉会の辞 横須賀共済病院 外科 舛井秀宣

■講演・聴講注意事項■

◎神奈川県臨床外科医学会集談会のweb開催は初めての試みであり、様々な障害が生じる可能性を排除できません。会員の皆様には以下の点をご確認、ご了承いただき、ご参加くださいますようお願いいたします。

- ・COVID-19感染対策として第157回神奈川県臨床外科医学会集談会はZoomを用いたweb形式で行います。
- ・参加希望者は各自でZoomの使用環境を整えてください。また集談会中のシステム障害へは十分な対応ができない可能性があり、発表の中断・中止、講演会の中断・中止となる場合があります。
- ・パソコン、タブレット又はスマートフォンから参加が可能です。
- ・当日使用する機器に予めアプリをインストールしていただくことを推奨いたします。
- ・Wi-Fi環境等の電波の安定した場所で受講し、公衆無線LANでの利用はお控えください。
- ・利用にかかる通信料は受講者ご自身でご負担ください。
- ・研修内容の録音・録画（スクリーンショット等）、および資料の2次利用、SNS等への投稿は固くお断りいたします。
- ・当日までにZoomのテストサイト（<https://zoom.us/test>）にて接続環境等をお試しいただくことを推奨いたします。
- ・Zoomのインストール方法や操作方法などの技術的な質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。

その他、ご不明な点等がございましたら、下記事務局までご連絡ください。

神奈川県臨床外科医学会事務局：
〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1
事務局 深澤 勇太
TEL：045-241-7000 FAX：045-241-1464
e-mail：y-fukazawa@kanagawa.med.or.jp